

議会のあり方調査特別委員会 政策等検討分科会 記録	
開 会 年 月 日	令和8年4月9日
開 会 時 刻	午後1時29分
閉 会 時 刻	午後2時21分
出 席 委 員 名	◎辻 孝記 ○青沼陽一郎 杉村 剛 大西要一
	中村 功 上村和生 楠木宏彦 宿 典泰
欠 席 委 員 名	なし
署 名 者	—
担 当 書 記	森田晃司
協 議 案 件	1 今後の協議の進め方について
	2 予算審査の振り返りについて
	3 その他の事項
説 明 員	杉原指導官、森田係長

会議の概要

社会長開会を宣告し、直ちに会議に入り、「今後の協議の進め方について」外2件を順次議題とし、協議を行い、分科会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

協議の内容

1 今後の協議の進め方について

社会長から、1月9日の本分科会において確認した検討必要項目について、優先順位を整理したいとの説明があった。その中で、「予算・決算審査のあり方について」は、審査方法が未定である令和9年3月以降に向けて協議を行う必要があるため1番目に整理すること、また、「政策立案・政策提言について」も、以前からの状況を踏まえ優先的に取り組む必要があるため2番目に整理したい旨の提案がなされた。他の項目も含めて協議を行った結果、検討必要項目の優先順位として、1番目に「予算・決算審査のあり方について」を、2番目に「政策立案・政策提言について」とすることとし、その他の項目については正副会長に一任することとした。

2 予算審査の振り返りについて

3月定例会における予算審査について振り返りを行ったところ、委員から以下のとおり意見が出された。その上で、令和8年9月の決算審査後に改めて振り返りを行い、審査方法が未定である令和9年3月以降の審査に向けて議論を進めていくことが確認された。

【発言】

- ・楠木委員…… 今回の予算審査では委員外議員として発言したが、住民からの意見を問題として扱うという点で非常によかった。今後は（分科会方式ではない）予算特別委員会で議員が発言できるようになるとよい。
- ・大西委員…… 委員外議員の制度が活用されたことは一歩前進である。ただし、委員外議員の発言については、進行上の観点から事前通告制にしたほうがスムーズではないかと感じた。
- ・上村委員…… 委員外議員の発言について、急遽思いつくこともあるため一概に否定はしない。しかし、正副会長の席から委員外議員の挙手（発言希望者）が見えにくいため、やはり事前通告制にしたほうがよい。
- ・中村委員…… 委員外議員の発言について反対はしないが、実際の質疑を見て「この程度の内容か」と感じる部分もあった。
- ・杉村委員…… 全ての項目を審査するとなると大変であるため、分科会で進めてよかった。委員外議員の発言については、これから取り扱いがいろいろ変わってくるかもしれないが、続けてもよいと思う。
- ・宿 委員…… 委員外議員の発言は、（13名程度の）予算特別委員会をつくらないので、委員外の人にも発言機会を持ってもらおうという話である。予算・決算を多くの議員で審査をするという形にしたら委員外議員という話にはならない。（13名程度の）予算特別委員会にすることで、議会としてきちっと議論ができるようにしていかないといけない。

- ・青沼副会長… 今回初めて委員外議員として自分の所属以外の分科会に参加した。「事前通告制に」との意見があるが、各議員がそれぞれの分科会会長に事前に話をしている。また、(自分の分科会に振り分けがなく) 思い切って委員外議員として発言をしたところ、「別の分科会で発言を」と言われてどうしていいのか分からなかった。質問ができないということになると議論の空白の部分が出てくる。そういう意味でも分科会方式でよいのかということを再度検討していくべき。
- ・辻 会長…… 分科会の中で議論がされなかった部分を委員外議員が発言している。そういった意味から、委員がきちっと議論して欲しかったということになる。そして、委員外議員がたくさん発言されると分科会方式がいかななものかというふうにも映ってしまう。それも含めて今後議論していきたい、各会派の方々とも議論してもらえたらと思う。

3 その他の事項

次回の会議について

【開催日時】 5月15日（金）午前10時

上記署名する。

令和8年4月9日

会 長